



# Weekly Report

国際ロータリークラブ会長テーマ

RI会長 ジョン・F・ジャーム

真岡ロータリークラブ会長テーマ

会長 宇賀神 裕一

人類に奉仕するロータリー

絆を育もう



国際ロータリー第2550地区

真岡ロータリークラブ

- 司会                      副SAA                      渡邊 佳寛 君
- 点鐘                      会 長                      宇賀神裕一 君
- ロータリーソング    四つのテスト
- 会長挨拶    会長 宇賀神 裕一 君

皆さま、こんにちは。

本日はあいにくの雪となりました。お寒い中の例会参加、ご苦労さまです。11月19日土曜日から姉妹クラブ斗六扶輪社へ21名の皆さまの参加を頂きまして行ってまいりました。

台北松山空港到着から、劉会長はじめ、斗六の会員方のお出迎えを受けました。斗六にバスにて移動し、夜からの例会に出席し、熱烈歓迎を受け友情を深めてまいりました。斗六のメンバーは現在26名です。ゲストとして、謝 斗六市長、正心中学校の林 新校長のお二人がいらっしゃいました。二次会には正心中学校の新旧校長先生方と当クラブメンバー6名にて参加し交流を深めました。



二日目は、斗六から台南市に移動しながら観光し、日本の水利技術者・八田與一が建造を設計、監督したダムを見学いたしました。日本統治時代の台湾で、農業水利事業に大きく貢献した日本人です。その後は、高雄港クルーズ等、台湾の歴史と文化に触れてきました。

夜は会長ナイトという名目の夕食会をみんなで楽しむことができました。皆さまに慰労して頂き、たいへん感謝申し上げます。

三日目は、高雄駅から台湾の新幹線『N700T』、日本の700系のT型『台湾系』でした。乗り心地は快適でした。そして松山空港より羽田空港への帰途につき、無事戻りました。以上簡単ではございますが、斗六公式訪問のご報告をさせていただきます。私といたしましては、無事に斗六公式訪問も終わり一安心しているところであります。担当の石川姉妹クラブ委員長をはじめ委員会の皆さま、そしてご参加の皆さま、どうもありがとうございました。ご協力に感謝申し上げます。

本日は、炉辺会合の発表があります。斗六訪問もあり忙しい中での開催でした。担当されました座長さまには、お手数をおかけいたしました。お詫び申し上げます。例会後、クラブ協議会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。以上、会長挨拶とさせていただきます。

## MU会場案内

月曜日

宇都宮90 東武ホテルグランデ  
小山中央 思 水 荘

火曜日

真岡西 フォーシーズン静風  
宇都宮 東武ホテルグランデ  
宇都宮東 ホテルニューイタヤ

水曜日

益子 益子カントリー  
しもつけ 石橋商工会館

木曜日

宇都宮西 東武ホテルグランデ  
宇都宮北 宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東 ヴィラ・テ・マリアージュ小山

会長 宇賀神 裕一

幹事 市村 忠男

会報委員

石塚 龍夫 平石 典嗣 青木 圭太 馬場 照夫 宗像 拓

事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(真岡商工会館内)  
TEL.0285-84-2511

FAX.0285-84-2510

URL: <http://rc-moka.jp/>  
e-mail: [rc-moka@i-berry.ne.jp](mailto:rc-moka@i-berry.ne.jp)

## ■幹事報告

幹事 市村 忠男 君

- ①斗六公式訪問の報告と御礼
- ②職業出前講座の検討委員会の活動状況報告



## ■スマイルボックス報告

岡本 佳男 君

宇賀神 裕一君 斗六公式訪問、無事終了することが出来ました。ありがとうございました。本日、炉辺会合報告、各グループの座長さん、よろしくお祈りします。例会終了後、クラブ協議会よろしくお祈りします。

市村 忠男 君 斗六公式訪問無事終了いたしました。参加頂いた皆さまありがとうございました。熱烈歓迎と聞いていましたが実感しました。炉辺会合の報告頂く皆さまよろしくお祈りします。

金子 正男 君 斗六公式訪問の皆さまご苦労さまでした。炉辺会合発表の座長さん、よろしくお祈りいたします。

岡本 俊夫 君 公式訪問で渡台された皆さまお帰りなさい。ご苦労さまでした。卓話で炉辺会合の報告をされる各座長の皆さま、ご苦労さまです。炉辺会合、急きよ欠席となりましたこと、齊藤座長ごめんなさい。

辻 達男 君 斗六公式訪問の皆さま、お帰りなさい。無事帰還を祝して。豊田さん、炉辺会合激論のまとめ役、ご苦労さまでした。

石田 順一 君 斗六公式訪問の皆さま、大変お世話になりました。三日目に皆さまと別れて私はサチコ姫と二人で旅を楽しんで来ました。無事帰国出来ました。ありがとうございました。

海老原 均 君 初雪、台湾斗六RC公式訪問された方、寒いでしょう。無事ご帰宅、お疲れさまでした。また、ご苦労さまでした。

木村 慎太郎 君 急に寒くなりました。お互い健康に気を配りましょう。

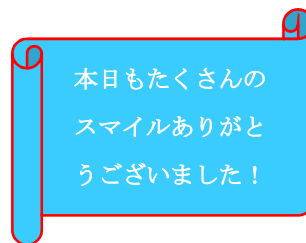
齊藤 敏彦 君 炉辺会合座長の皆さま、ご苦労さまです。豊田座長合同炉辺会合取りまとめに感謝します。斗六公式訪問、宇賀神会長、市村幹事お疲れさまでした。

石塚 龍夫 君 炉辺会合第一Gの皆さま、突然の設営にも拘らず多数ご参加くださり、活発なご意見を戴きありがとうございました。

久保 賢司 君 11月に関東地方に降る雪は、54年ぶりだそうです。不精な私ですが、『今夜は家内と雪見酒』なんちゃって！

## ■11月24日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	1,009,000
会員	26,000
ビジター	0
本日のスマイル合計	26,000
スマイル今期累計	1,035,000
前回までの米山繰越金	25,309
米山	0
米山今期累計	25,309
合計金額	1,060,309



## ■炉辺会合報告

ア～オ・グループ

石塚 龍夫 君

11月17日(木)6:30PM～ 於:なが勢

13名中9名の方にご出席頂きました。宇賀神会長、渡邊 佳寛君にもご出席頂き総勢11名となりました。クラブ独自の社会奉仕事業検討委員会の中間報告書の内容にとらわれることなく幅広くご意見をもらいました。



クラブ独自の社会奉仕事業検討委員会の現時点における検討事項について

- ・ 検討委員会渡邊書記より、過去6回の検討委員会の詳細な経過報告あり
- ・ 寺子屋方式の学業支援はどうか？
- ・ 支援金の枠を先に決めるより、より良い支援策を検討しそのために必要な資金をどうしたら調達できるかを考えるべきではないか？
- ・ どうしても総論賛成、各論反対になる。
- ・ 学生にプレゼンテーションをさせ、その夢を支援したい。
- ・ 頑張った人、頑張ろうとしている人を支援したい。



- ・ 優秀な人をより優秀な人材に育てる支援をしたい。
- ・ 教育の標準化は行政にまかせ、我われは地元リーダー育成に支援すべきでは？
- ・ 米山奨学生支援も良いが、地元版米山奨学金の設立を。
- ・ 奨学金事業は、誰が選出するのか、どんな方法で選出するのか、学校に一任するのか、教育委員会に任せるのか、奨学生の選出については、くれぐれも『四つのテスト』に照らして、十分検討することを期待します。
- ・ 会員の総意を集約し、事業へ積極的な関わりを持ちましょう。

#### 60周年事業について

- ・ 会員拡大のための基調講演はどうか？
- ・ タクロバン義捐金でお世話になった、フィリピンのプリンダイヤモンドRCを招待したい。

#### オ～シ・グループ

#### シ～ハ・グループ合同

豊田 光弘 君

11月15日(火)6:30PM～ 於:フォーシーズン静岡

オ～シ・グループの参加者が7名、シ～ハ・グループの参加者が8名、市村幹事に出席頂き合計16名となりました。市村幹事よりご挨拶を頂き、久保康夫君より説明をしてもらい議事に移りました。



クラブ独自の社会奉仕事業検討委員会の現時点における検討事項について

- ・ 貧困家庭の学生を支援、底辺拡大には高校生が良いのかなと思う。
- ・ 基本的にはこの事業は行うべきである。貧困層は確かにいるが、それでもその様に言われたくないという人たちもいる。今後、高校の校長先生の話などを聴く予定になっているので意見を参考に進めて行くべきだろうと思う。
- ・ 個人的には、月額1,000円より、もう少しあった方が良いと思っている。
- ・ 地域に対する奨学金、高校生に対する給付、基本的に賛成。
- ・ 奨学金を誰に渡すのか、親に渡すのか、本人に渡すのか、使われ方を考える。親に渡した場合何に使われるのか疑問である。それとも参考書などひも付きにするのか？
- ・ スポーツで素晴らしい人への支援という考え方もあるのではないか？
- ・ 真岡出身の人を対象とするのか、また、県外出身の人も対象とするのか？
- ・ 奨学金ありき、その他のことはないのか？財団・米山等対象は違いますがすべて奨学金である。会員が奨学金に拠出する割合が偏りすぎているのではないか。他のことを検討する余地はないのか？
- ・ 大学に入学するときに、多額のお金がかかる、その時に一時金を一括して給付するというのも受給者に喜ばれるのではないか。
- ・ 地区を限定するのであれば会員の地区、真岡、芳賀、市員として頂きたい。県でも奨学金制度がある。他の制度との住み分けを考えて、真岡ロータリーとして特色ある奨学金制度を望む。
- ・ 給付の決定時期を、中学3年時に決定していれば受給者も進学するのに参考にできる。
- ・ 奨学金を高校生対象にするにも、人選をどうするのか。対象候補者をどのように決めるのか。
- ・ 個人のプライバシーを尊重し進めたい。
- ・ 大学に行くときの入学時の資金の問題、人選をどうするか。支給する時期をどうするか。
- ・ とにかく一歩踏み出すことが大事である。とにかくスタートさせて頂きたい。
- ・ 対象者の人選をどうするのか。
- ・ 地元で奉仕する、それも継続的に行うことは良いことである。人に投資することは素晴らしい。
- ・ 何のために、勉強したいが経済的に厳しい、また大学を卒業したら真岡地区に帰って来てくれる人、どちらに重きを置くか。それと毎月受給を希望、一時金希望等により給付方法も変わる。
- ・ 人選については学校に委ねる。
- ・ 身の丈に合った内容、短期で終わっては意味がないので長く続くことが重要、会員が納得できる内容であることが大切。
- ・ 例会開催の見直し、例会を少なくする、により資金を拠出する方法もある。
- ・ 対象者、母子・父子家庭など、卒業時に10万円貰える、高校生対象だと毎月の給付が8千円や1万円などもある。

11月14日(月)6:00PM～ 於:うな源

11月10日木曜日の月初会の際、今回の炉辺会合の提示を受けてから4日後という、急な日程となりましたが、本会を優先し、また時間に遅れながらも参加協力下さいましたメンバーの皆さまに感謝申し上げます。



初めに、宇賀神会長より今後の事業に対する理解と協力のご挨拶を頂き、次に、検討委員会の書記であります渡邊 佳寛さんから、中間報告についての内容等、詳細についての説明があり、その後メンバー、一人ひとりから考えをお話し頂きました。

選考基準について

- 学業成績とともに家庭の経済状況、また本人の資質等、近年何かと問題になっている個人情報に関わることであり、非常にデリケートな要素を含んでいます。この奉仕活動をより良い事業とするためには、外部有識者の指導、意見を仰ぐことも必要ではないか。
- 真岡RCとして『奨学金制度の規定』を確立するとともに『選考基準の明確化』が必要であり求められるでしょう。

支援の対象者について

- 地域密着貢献とし、郡内4高校、真岡高校、真岡女子高、真岡工業、真岡北陵の高校生とすることで良い。

奨学金の徴収額について

- 月額会員1名1,000円の場合は、自転車操業になりかねない。万が一の事態への対処、長期的に継続するためには余裕の持てる資金計画を考えるべきだ。

- 会員1名当たりの徴収額は、初回から3,000円とし60周年に向けての記念事業として取組み、基金の創設が出来れば良いのでは。

- この事業は少しでも早く始めるべき。

今後の検討課題

- 事業を進めて行く中で様々な問題に直面することになると思いますが、先ずスタートしましょう。そして問題点は、その都度改善しましょう。

座長として感じたこと

参加者全員が中間報告の議事内容を十分に把握した上で、今回の炉辺会合に臨んでいました。しかも大いなる熱意を強く受けました。『酒飲んで話しているだけじゃダメなのだ！そんなのロータリーではない！』、『会員として心から誇りに思える地域貢献事業が必要なのだ、そうであれば地域社会も自然と我われを応援してくれる』等、心溢れる真剣な討議が続いたこともあり、追加の酒を注文するのも忘れたので、予定していた会費が大分余りました。参加者全員の熱心な意見によって、充実した『第1回炉辺会合』となりました。重ねて御礼申し上げます。

■出席報告

出席委員会 柳澤 正弘 君



■月間予定 (12月)																												(1月)				
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5				
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
内部卓話							外部卓話							忘年家族例会							木特別休会							木新年会				

本日のプログラム  
12/1(木) 月初会  
年次総会

在籍 53名	出席免除者4名(有資格者 3名 + 有理由者 1名)							
例会日	出席義務	事前MJ	事後MJ	出席者	内免除者	欠席者	出席率	月間出席率
補正後 11月10日	49	2	3	40	1	5	90.00%	
本日 11月24日	49	7	-	39	0	3	93.88%	

次回のプログラム  
12/8(木) 内部卓話

7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率	2月出席率	3月出席率	4月出席率	5月出席率	6月出席率
95.05%	93.39%	94.03%	86.69								

※例会欠席はAM11:00までに必ずTEL.0285(84)2511 FAX.0285(84)2510 にて事務局までお知らせください。